

2012年6月26日

報道各位

JX 日鉱日石金属株式会社

豊羽地区で進めている地熱開発のための調査井からの噴気について

JX 日鉱日石金属株式会社（東京都千代田区大手町二丁目 社長：岡田昌徳 以下「当社」）は、かねてより豊羽地区（札幌市南区定山溪）において、地熱発電の可能性について調査を進めてまいりましたが、調査井の一本から水蒸気の噴気を確認いたしましたので、ご連絡いたします。

豊羽地区は、独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（New Energy and Industrial Technology Development Organization : NEDO）が2010年度までに実施した調査により、地熱発電に関して大変有望な地域であることが確認されております。

この結果を受け、当社が地熱に関する調査を引継ぎ、2011年度には、2011号調査井のボーリング掘削を行いました。今回の噴気は、同調査井において、噴出と坑口圧力、地熱流体の賦存状況を把握するために行った短期噴出試験の中で確認されたものであります。

当社としましては、この度の短期噴出試験により得られたデータを活用し、2015年頃までを目途に引き続き調査を実施し、豊羽地区における地熱開発の可能性についてさらに検討を進めてまいります。

以 上



2011 号調査井からの噴気の模様